



り、1羽当たりの飼料費を41円削減することができました。さらに、正肉割合がやや低く、腹腔(ふくこう)内脂肪割合はやや高くなったものの、食味官能検査において「ジューシ

「対馬地どり」専用飼料

多汁性でうま味強く 飼料費41円／羽削減

対馬地どり専用(試験飼料)とブロイラー専用の飼料対比図

区分	体重(g)	飼料摂取量(g)	飼料費(円/羽)	正肉割合 ¹⁾ (%)	腹腔内脂肪割合 ¹⁾ (%)	官能評価 ²⁾	
						ジューシーさが強い(人)	うま味が強い(人)
ブロイラー専用飼料	2,953 (n=22)	9,644	885	41.1 ^a	3.9 ^b	0	1
試験飼料	3,003 (n=23)	9,968	844	39.9 ^b	5.2 ^a	12	10

1) 縦列異符号間(P<0.05)に有意差あり(studentのt検定)
2) 14週齢雄のもも肉の炭火焼きについて食味官能評価を実施。回答者12人に項目ごとにより強い、変わらないで回答を得た。変わらないの回答数はジューシーさは0人、うま味は1人だった

農林技術開発センター畜産研究部門では、1986年から長崎県独自の在来種である「対馬地鶏」を用いた地鶏の育種をしています。2015年には肉質に優れる「対馬地どり(雄)龍軍鶏(ろうじゅん)×雌「対馬地鶏」を開発しましたが、ブロイラー専用飼料を給与した場合、ブロイラーより増体能力が劣る「対馬地どり」には、栄養が過剰になる恐れがあります。そこで、「対馬地どり」に適した給与飼料の栄養水準を検討しました。

具体的には、ブロイラー専用飼料と採卵鶏大ひな用飼料を7対3の配合割合とした低タンパク質・低カロリーな試験飼料を「対馬地どり」に給与することで、ブロイラー専用飼料給与と比べて体重や飼料摂取量などの増体や飼料効率と同程度とな

「さ(多汁性)」「および」「うま味」が強いと評価されました。現在、この試験飼料は「対馬地どり」の専用飼料として利用され、昨年の8月に設立した長崎対馬地どり振興協議会のメンバーによりの生産、加工、流通、外食販売といった新しい取り組みが進められています。(農林技術開発センター畜産研究部門 小家畜・環境研究室 研究員 松永将伍)